

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（ A組： 矢野

使用教科書：（ 「家庭総合 明日の未来を築く」 開隆堂【家総704】 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築にむけて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。	家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「青年期の自立」 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の課題である自立について知る。 【学びに向かう力、人間性等】 男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深める。	・指導事項 ・青年期の発達課題を知り、自分らしさとは何か考えられるようにする ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 青年期の自立について理解できているか。 【思考・判断・表現】 課題について考えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	B 単元 「家族・家庭及び社会」 【知識及び技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。	・指導事項 ・家庭や地域のよりよい生活を想像するために、自己の意思決定に基づき、責任をもってこうどうすることや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解できているか 【思考・判断・表現】 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて考えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	C 単元 「生活を支える経済」 【知識及び技能】 家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会の関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連づけて考察する。	・指導事項 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出はどのような項目があるか学ぶ。 ・将来のライフイベントや起こり得るリスクとその費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会の関わりについて理解できているか 【思考・判断・表現】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について考察できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	9
	D 単元 「消費行動と意思決定」 【知識及び技能】 ・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 生活情報の収集・整理が適切にできる 【学びに向かう力、人間性等】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深める。	・指導事項 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・契約の意味を知り、契約を取り消す方法として、クーリングオフや消費者契約法について理解する。 ・様々な問題商法の手口について知り、対処法を考える。 ・成人年齢が下がったことによる被害の状況を理解し、特に若者が被害にあっている商法を理解する。 ・クレジットカードの仕組みについて知る。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・契約の意味を知り、契約を取り消す方法として、クーリングオフや消費者契約法について理解できているか。 【思考・判断・表現】 ・様々な問題商法の手口について知り、対処法を考えているか。 ・成人年齢が下がったことによる被害の状況を理解し、特に若者が被害にあっている商法を知る。 ・クレジットカードの仕組みについて知る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8

	定期考査			○	○		1
2 学 期	E単元 「人間と衣服」 【知識及び技能】 ・日本と世界の異文化などを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・衣生活を取り巻く課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 被服と人との関わりについて理解を深める。	指導事項 ・衣服の起源と民族服 ・衣服の機能 ①保健衛生的機能 ② 生活活動上の機能 ③社 会的機能 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ・日本と世界の異文化などを理解する。【思考・判断・表現】 ・衣生活を取り巻く課題を考える。【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	F単元 「被服の科学と管理」 【知識及び技能】 ・被服材料、被服構成について理解する。【思考力、判断力、表現力等】 ・被服衛生及び被服管理について科学的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活の自立に必要な技能を身に着ける。	指導事項 ・衣服素材の種類と特徴 織物 編み物 不織布 ・教材 教科書 折り紙	【知識・技能】 ・被服材料、被服構成について理解する。【思考・判断・表現】 ・被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、生活に活かせるか。【主体的に学習に取り組む態度】 折り紙で織物模型に取り組んでいるか。ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	G単元 「被服の選択と安全」 【知識及び技能】 ・目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の衣文化の継承・創造について考察し、工夫する。	指導事項 ・取り扱い表示を知る ・洗剤の種類と界面活性剤 ・衣服の手入れ・衣生活の計画 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ・目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装を知る。【思考・判断・表現】 ・主体的に衣服の手入れができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	9
	H単元 「衣生活の文化」 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本と世界の異文化を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 被服と人との関わりについて理解を深める。	指導事項 ・日本の風土から生まれたきものを知る ・日本の服装の移り変わりをを知る ・教材 教科書 折り紙	【知識・技能】 ・着物の歴史的変遷を知る 【思考・判断・表現】 ・日本の服装の変化について考察できたか。【主体的に学習に取り組む態度】 和服模型、ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I単元 「被服をつくる」 【知識及び技能】 基本的な被服製作に必要な技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 製作のために必要な作業は何かを考え、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 習得した技術を実生活に活かすことができる。	指導事項 ・ミシン各部の名称 ・ミシンの使い方 教材 教科書	【知識及び技能】 ・ミシンの使い方 ・上糸のかけ方 ・下糸の巻き方 【思考力、判断力、表現力等】 製作のために必要な作業は何かを考え、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・製作記録の記入	○	○	○	9
	J単元 「被服をつくる」 【知識及び技能】 基本的な被服製作に必要な技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 製作のために必要な作業は何かを考え、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 習得した技術を実生活に活かすことができる。	指導事項 ・エプロン製作 ・布 ・ミシン糸 ・裁ちばさみ 糸切りばさみ	ミ シンの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 返し縫いができる 三 つ折り縫いができる 糸 始末ができる 製 【学びに向かう力、人間性等】 作記録の記入 エ ロン作品の評価	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 78

